道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道 2 号 広島南道路	事業 区分	一般国道		国土交通省 中国地方整備局
	自:広島県安芸郡海田町日の出町 ひろしましにしくしょうこう 至:広島県広島市西区商 エセンター4丁目			延長	14.8km

事業概要

一般国道2号は、大阪市から瀬戸内海沿岸の主要都市を経由し北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道 路である。

ロー・ログ・ひっ

広島南道路は、広島市中心部の通過交通を適切に処理し、渋滞緩和を図るとともに、港湾等を拠点とする物流の効率化、広域な地域経済の連携強化等を図るために計画された延長14.8kmの道路である。

H元年度事業化			都市計画決定 年度変更)	Н	2年度用地着	·手	H 1 0年	度工事着手
全体事業費	糸	勺4, 120億円	事業進捗率 (H25年3月末3	現在)	76%	供用済	 延長	9.6km
計画交通量			台/日					
費用対効果 B / C 事業針 (1. 1	(3便益) <u>総費</u> 事業 維持	767 / 5,657 美費 : 691/5,		走行時間短縮便	益: 15	6, 123億円 16/5, 091億円	平成25年

感度分析の結果

 事業納 交 通 量: B/C=1.0~1.1(交 通 量±10%)
 (購業) 交 通 量: B/C=1.4~1.9(交 通 量±10%)

 事業費: B/C=1.1~1.1(事業費±10%)
 事業期間: B/C=1.5~1.8(事業費±10%)

 事業期間: B/C=1.0~1.1(事業期間±20%)
 事業期間: B/C=1.5~1.8(事業期間±20%)

事業の効果等

- ① 円滑なモビリティの確保
 - ・現道等の年間損失時間の削減が見込まれる(約109,260千人・時間/年→100,645千人・時間/年)
 - ・現道等における混雑時旅行速度が 20km/h 未満である区間の旅行速度の改善が期待される
 - ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【国道2号:21線路線、震庚午線:3路線】
- ② 流効率化の支援
 - ・広島港(特定重要港湾)から高速 IC までのアクセスが向上

【広島港~廿日市 IC: 37 分⇒21 分】

- ③都市の再生
 - · 当該路線は中心市街地(DID 地区内)の事業
 - 都市計画道路密度が向上【1.86km/km2→1.91km/km2】
- 4 国土・地域ネットワークの構築
 - ・地域高規格道路「東広島廿日市道路」として位置付け
- ⑤個性ある地域の形成
 - ・拠点開発プロジェクトを支援

【ひろしまの「知の拠点」再生プロジェクト(仮称)、出島地区港湾整備事業、宇品内港地区港湾整備事業】

- ・世界文化遺産厳島神社を要する観光地宮島や平和記念資料館等へのアクセス向上が期待される
- ⑥安全で安心できるくらしの確保
 - ・三次医療施設へのアクセスが向上【廿日市市役所〜県立広島病院:20分⇒18分】
- ⑦安全な生活環境の確保
 - ・死傷事故率が 500 件/億台キロ以上である区間において、安全性の向上が期待できる

【広島スタジアム入口交差点 712.7件/億台キロ 等】

- ⑧災害への備え
 - ・広島県の第一次緊急輸送道路に指定 (一般国道2号)
- ⑨地球環境の保全
 - ・CO2排出量が約51.7千t/年(約1.4%) 削減【3,824.5千t/年→3,772.8千t/年】
- ⑪生活環境の改善・保全
 - ・NOx排出量が約194.0t/年(約1.9%) 削減【10,240.0t/年→10,046.0t/年】
 - · S P M排出量が約 10.7t/年(約 2.0%) 削減【538.5t/年→527.8t/年】
 - 広島市中区舟入本町の夜間の騒音が改善される見込み

⑪環境への影響を考慮した効果

- 約51.7千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【28.0億円※】
- ⑫対象地域や事業に固有の事情がある(広島臨海部と高速道路へのアクセスが向上)

【西部流通センター~広島東 IC: 40 分→19 分】

③交通事故件数の削減

・交通事故件数が約2.7%削減【10,661件/年→10,369件/年】

※供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

関係する地方公共団体等の意見

広島南道路は、広島都市圏中心部の交通円滑化を図り、交通混雑の緩和、臨海部における都市活動の推進及び 沿道環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、広島市、廿日市市、海田町、坂町の首長等で構 成される「広島南道路建設促進期成同盟会」により、建設促進について要望(平成 25 年 7 月 17 日)を受けてい る。

広島県知事の意見:継続とする対応方針(原案)については妥当である。

広島港臨海部における東西の幹線軸となる広島南道路は、広島都市圏の都市機能の向上や、周辺地域との連 携強化を図る上で必要不可欠な社会基盤であり、現在事業中の東広島・安芸バイパスと連携し、広域的なネッ トワークが形成されることにより、本来期待される機能が十分に発揮されるものと考えます。

今後も引き続きコスト縮減に努めながら、事業化区間の全線供用に向け、計画的に整備を進めるとともに、 未事業化区間についても、関係機関と協議調整を行い、広域的なネットワークが早期に形成されるよう努めて いただきたい。

広島市長の意見: 広島南道路の事業再評価に係る対応方針(原案)については異存ありません。

今年度供用予定区間(吉島地区〜観音地区)の整備効果を十分発揮するため、事業区間のうち未整備となっている区間を着実に整備するとともに、未事業区間(商エセンターから廿日市市地御前間)については関係機 関と連携しながら整備方針を調整し、広島南道路の早期完成を図られるようお願いします。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

広島市中心部は、商業活動において中国地方の中心的役割を果たしており、日常生活活動及び経済活動の活性 化により自動車交通が増大し、内々・内外交通と通過交通の混在によりデルタ内の円滑な交通が阻害され慢性的 な交通混雑を引き起こしている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成 25 年度に吉島ランプ〜商エセンターランプ間の開通を目指し工事を推進しており、現在までに専用部 7.1km、一般部4.2km を開通している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成25年度に吉島ランプ~商エセンターランプ間の開通を目指し工事を推進している。

施設の構造や工法の変更等

河川護岸と道路擁壁の一体化によるコスト縮減を図っている。【約0.8億円の減少】

対応方針 (原案)

事業継続

<u>対応方針決定の理由</u>

以上の状況を勘案すれば事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

ひるしまみなみ |道2号

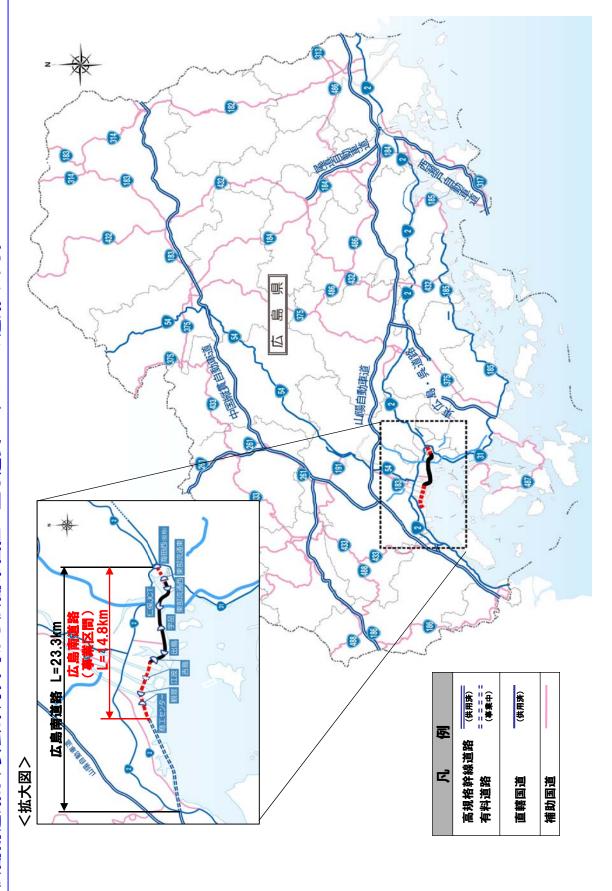
事業再評価

平成25年12月

国土交通省 中国地方整備局

位置図

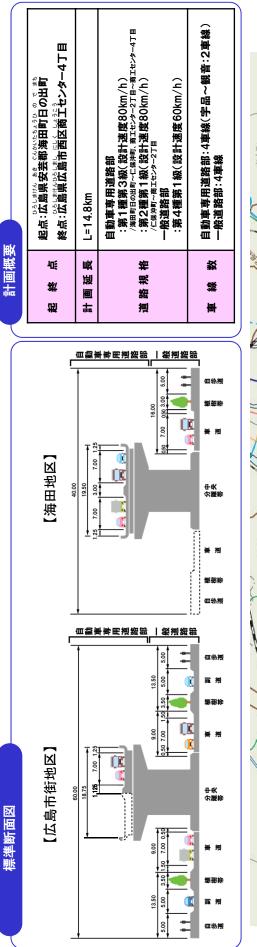
・一般国道2号は、大阪市から瀬戸内海沿岸の主要都市を経由し北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。 ・広島南道路は、安芸郡海田町から広島市西区に至る延長14.8kmの道路である。



事業概要及び経緯

(1) 事業概要

・広島南道路は、広島市中心部の通過交通を適切に処理し、渋滞緩和を図るとともに、港湾等を拠点とする物流の効率化、 広域な地域経済の連携強化等を図るために計画された延長14.8kmの道路である。

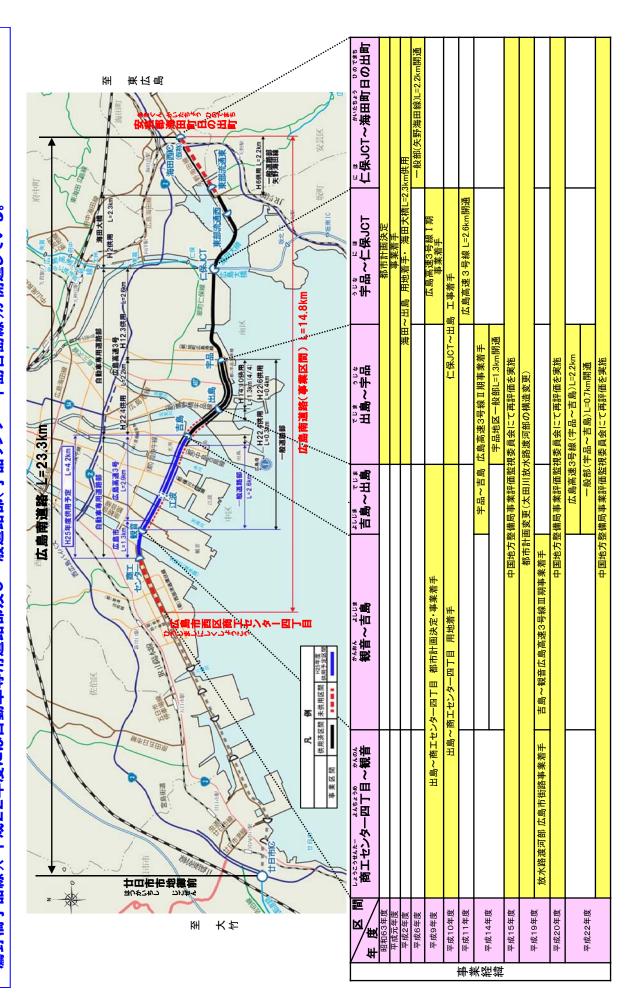




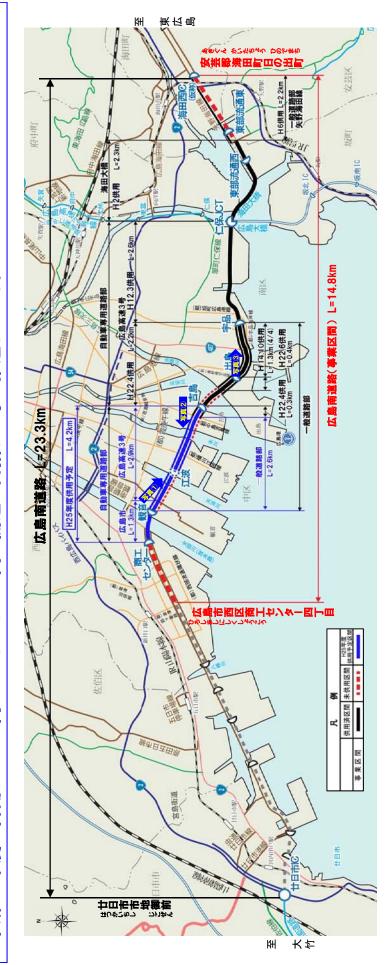
:事業概要及び経緯

2) 事業の経緯

平成14年度には一般道路部(宇品ランプ~ 鷹野橋宇品線)、平成22年度には自動車専用道路部及び一般道路部(宇品ランプ〜中島吉島線)が開通している。 ・平成元年に事業着手し、平成11年度に自動車専用道路部(仁保JCT~宇品ランプ)が開通、



・平成25年度に吉島ランプ~商エセンターランプ間の開通を目指し工事を推進している。









K K				
事業全体の進捗状況 平成25年3月末時点)	%66	%89	%92	◇国 2 木木二番米単%%
事業全体 平成25年	田油	工事	全体	7%一带来事

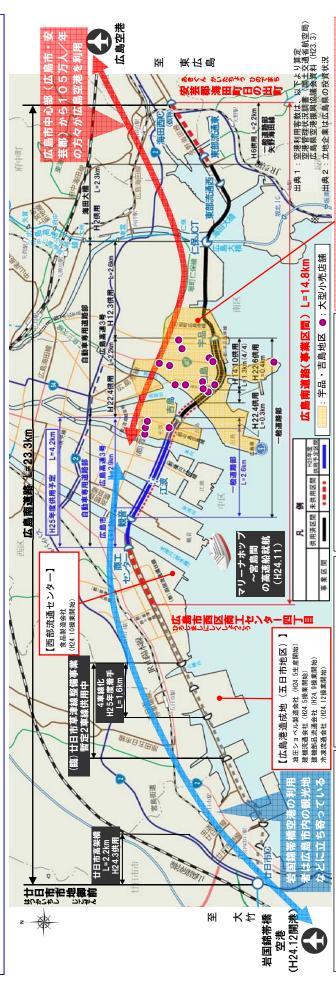
展 K O				
事業全体の進捗状況 平成25年3月末時点)	%66	%89	76%	
事業全体 平成25年	用地	●Ⅱ	全体	/半 華 年 //

雪
1/0
4
衣
ij
曹
粣
冊
貕
X

前回評価時からの主な周辺状況の変化

・平成24年3月に廿日市高架橋が開通し、また平成25年度から臨港道路廿日市草津線の一部4車線化に着手。

- ・広島空港への機能集約と広島西飛行場のヘリポート化により、広島市から広島空港へのアクセス向上が必要。
- 臨海部等では複数の企業が操業を開始し、また平成22年4~6月の一般部出島~吉島間の供用等により周辺に店舗が進出。
 - ・平成24年11月にマリーナホップ~宮島間の高速船就航。



臨港道路廿日市草津線 (H25年度一部4車線化着手)

廿日市高架橋 H24.3開通

広島南道路が、古島ランプ~商 エセンターランプ間の供用により、 本路線を通行する交通量が大幅に 増加し、交通混雑の更なる悪化が 懸念される。また、臨海部の物流 に支障をきたすことが予想される。 このため、約1.6kmの区間を 1 期と して4車線化の整備を行う。

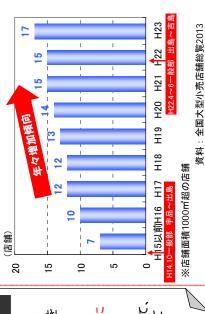
広島西飛行場のヘリポート化 (H24.11.15)

の進出数(累計)】

【字品・吉島地区への大型小売店舗

平成23年5月27日に開催された広島県 知事・広島市長会議において、次の2点を 知事との間で合意。

- (2) 広島西飛行場をヘリポート化した後に発生する広大な跡地利用について、市が検討を進め、県は市に協力して検討する。



≪廿日市高架橋の役割≫○廿日市市の交通渋滞の解消○安全性、利便性の向上○広島市と周辺地域の連携強化

✓ 資料:広島県HP

地域から期待される道路の役割(効果)



待される道路の役割

広島市中心部の渋滞①

- ・広島市の中心部は、山地及び河川に囲まれたデルタ地形の制約により、渡河部がボトルネックとなっている。
 - ・デルタ内を走行する交通の約8割がデルタ内を発着とし、その他2割が通過交通である。

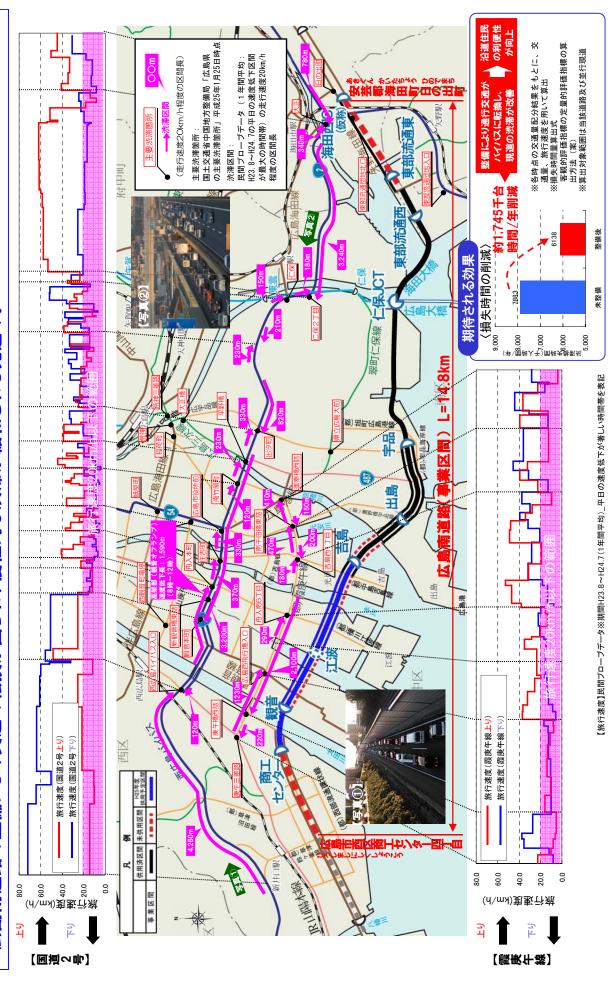




資料:交通量は平成22年度道路交通センサス 比治山庚午線、国道2号、霞庚午線の3断面合計

広島市中/

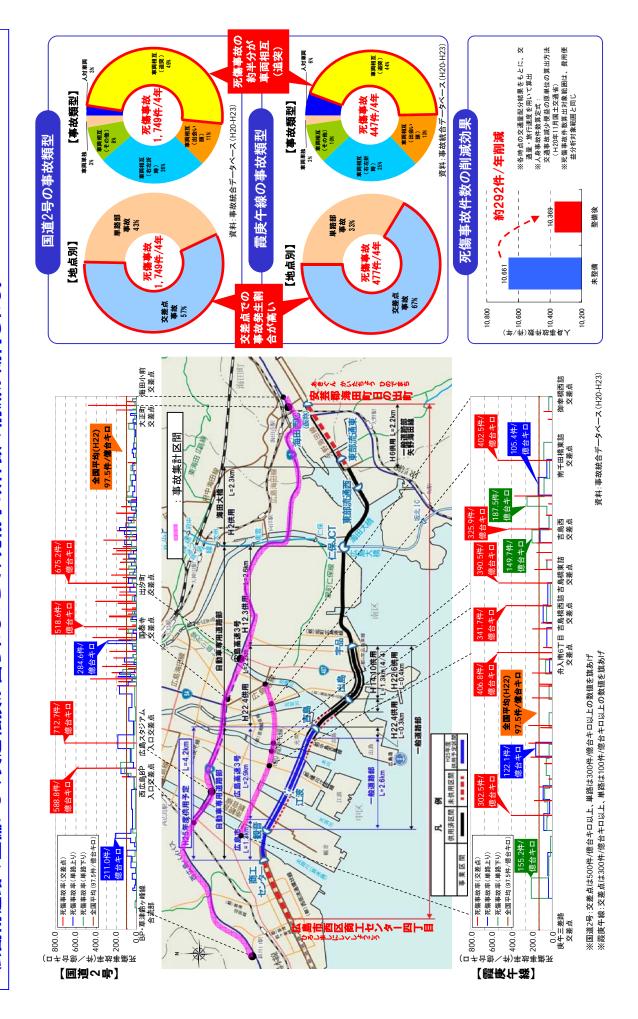
・広島市中心部の国道2号及び霞庚午線では、内々、内外交通と通過交通の混在により慢性的な渋滞が発生している。 備により交通の転換が図られ、慢性的な渋滞が緩和される見込み。 広島南道路の整



(な 新)

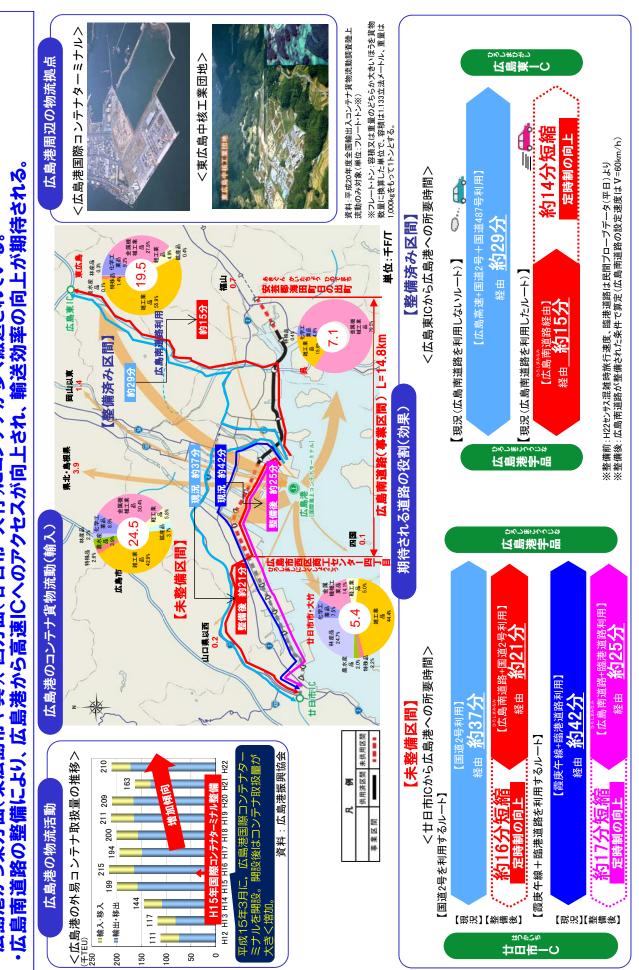
果題② 国道2号・霞庚午線で発生する交通事故

・国道2号及び霞庚午線の死傷事故は交差点で多く発生しており、渋滞による停止車両への追突事故が多発している。 道路の整備により交通転換が図られることで、死傷事故件数の削減が期待される。 **瓦島南**



Cへのアクセス向上

・広島港から東方面(東広島市や呉)、西方面(廿日市・大竹)にコンテナが多く搬送されている。



の公司の

Cのアクセス向上 **副拠点から 高速**

- ・広島県の貨物輸送の約8割はトラックにより輸送され、主に中国・近畿方面に運ばれている。
- ・広島南道路の整備により、中国地方最大級の流通拠点である広島市西部流通センターの主な商圏である中国・近畿方 面へのアクセスが向上することで、広島経済の活性化が期待できる。





<西部流通団地から広島東ICへの所要時間>

【現況】

様々

〇広島市西部流通センターから直接アクセスが可能となるため、 用は大幅に増加すると考えられる ■広島南道路への期待

ひろしまひがし 広島東10

> 约21分떱縮 定時制の向上

経由 約40分 【霞庚午線利用】

に応える (時間指定等) 〇輸送効率の向上によりお客様のニ-とで、市場が拡大すると考えられる。

資料:協同組合広島総合卸センターヒアリング結果(H24.12)

整備後は広島南道路が整備された条件で算定(広島南道路の設定速度はV=60km/h)

※現況の所要時間はH22センサス混雑時旅行速度

[広島南道路利用] 経由 約19分

、整備後】

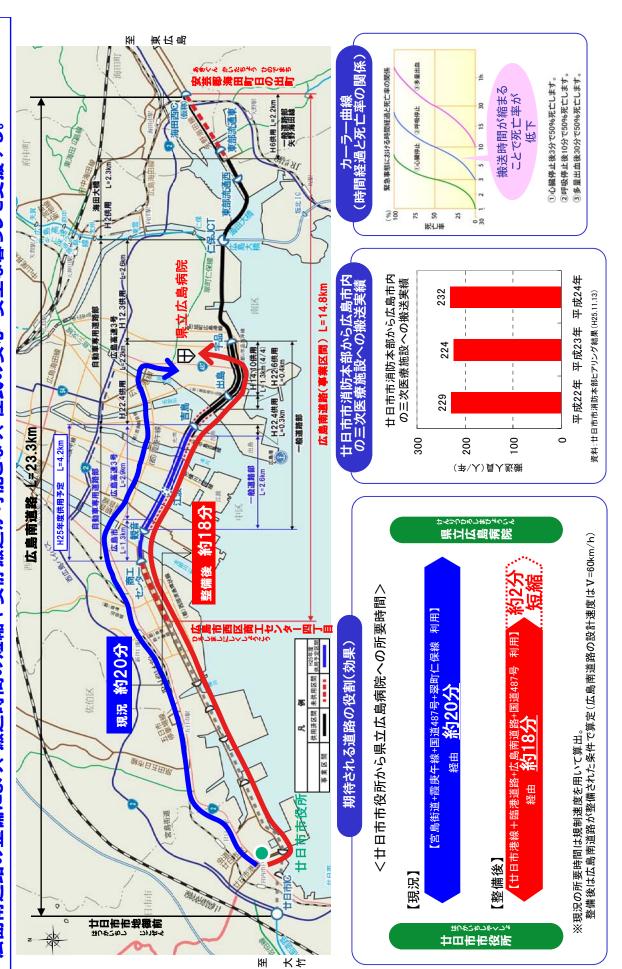
せいぶりゅうつう

西部流通センタ

ら期待される道路の役割 古画が

果題④ 高次医療施設への救急搬送

・廿日市市から広島市内の三次医療施設への搬送件数は年間200件を上回っており、迅速な搬送が求められている。 ・広島南道路の整備により、搬送時間の短縮や安静搬送が可能となり、住民の安心・安全な暮らしを支援する。



5. コスト縮減に関する取り組み

・河川護岸と道路擁壁の一体化によるコスト縮減を図っている。

東 東

 \uparrow 護岸と擁壁を単独で設計

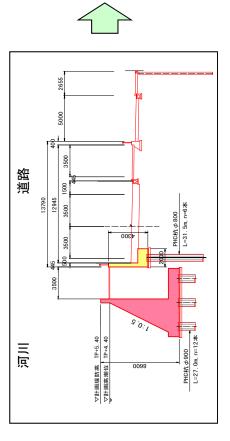
效果

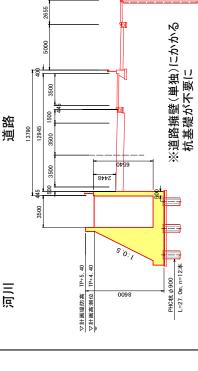
河川護岸と道路擁壁をそれぞれ単独で設計を コンパクト構造と 設計することにより、コスト縮減を図った。 百万円に縮減。 **たが、両構造物を一体構造物として** 基礎杭の本数を低減することができ 40 徐米、 1 河川沿いの道路改築において、 483百万円 していたが、

▼【従来】半重力式擦壁+L型擦壁

約78百万円のコスト縮減(縮減率約5%)







事業の効果 . ပ

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理

▶投資効果

(億円) 残事業 1,046 1,267 767 155 691 1.7 99 全体事業 5,401 5,657 6,123 5,091 256 312 721 7 走行時間短縮便益 走行経費減少便益 **交通事故減少便益** 維持管理費 費用便益比 事業費 Ш 严 ပ္ 便盐額 費用

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮され る効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

→道路の役割

■道路の役割(+α)

広島南道路整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算定 ①環境への影響を考慮した効果[約51.7千~/年のCO2削減]【+28億円】※

②物流の効率化[例)広島港~廿日市ICまでの所要時間短縮約16分][37分→21分] ③高次医療施設への救急搬送[廿日市市役所~県立広島病院までの所要時間短縮約2分][20分→18分]

※【】は、開通後20年間の便益額として試算した値(参考値)

●まため

計画交通量	総事業費	総費用(C)	3 便益(B)	その他の便益	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
800台/日~60,000台/日	約4, 120億円	5,657億円	6, 123億円	+ x	1.1 (1.7) $+\alpha$

※基準年:H25年

7. 今後の対応方針(原案)

・再評価の視点

①事業の必要性の視点

1)事業を巡る社会情勢等の変化

◇広島市中心部は、商業活動において中国地方の中心的役割を果たしており、日常生活活動及び経済活動の活性化により自動車交通が増大し、内々 内外交通と通過交通の混在によりデルタ内の円滑な交通が阻害され慢性的な交通混雑を引き起こしている。

2)事業の効果

◇費用便益比(B/C)=1.1(事業全体)1.7(残事業)

◇道路の役割

①環境への影響を考慮した効果[約51.7千 ゲン/年のCO2削減]【+28億円】※

広島南道路整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算定

②物流の効率化[例)広島港~廿日市ICまでの所要時間短縮約16分][37分→21分]

③高次医療施設への救急搬送[広島市佐伯区役所~県立広島病院までの所要時間短縮約2分] [20分→18分]

3)事業の進捗状況

※【】試算値(供用後20年間の便益額として試算した値)

事業の進捗見込み

◇平成25年度に吉島ランプ~商エセンターランプ間の開通を目指し工事を推進している

◇平成25年度に吉島ランプ~商エセンターランプ間の開通を目指し工事を推進しており、現在までに専用部7.1km、一般部4.2kmを開通している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇河川護岸と道路擁壁の一体化によるコスト縮減を図っている。

2. 県・市への意見照会結果

| 広島県知事の意見:継続とする対応方針(原案)については妥当である。

会基盤であり、現在事業中の東広島・安芸バイパスと連携し、広崎的中圏の都中機能の同上や、周辺地域との連携強化を図る上で必要不可欠な社 揮されるものと考えます。今後も引き続きコスト縮減に努めながら、事業化区間の全線供用に向け、計画的に整備を進めるとともに、未事業化区間にの全線代用に向け、計画的に整備を進めるとともに、未事業化区間についても、関係機関と協議調整を行い、広域的なメットロークが目的には、よっに、 島市長の意見:広島南道路の事業再評価に係る対応方針(原案)については異存ありません。

とて 今年度供用予定区間(吉島地区~観音地区)の整備効果を十分発揮するため、事業区間のうち未整備となっている区間を着実に整備するともに、未事業区間(商エセンターから廿日市市地御前間)については関係機関と連携しながら整備方針を調整し、広島南道路の早期完成を図 れるようお願いします。

一个後の対応方針(原案)】

- ・上記①~③の各視点により、事業の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも <mark>事業継続が妥</mark>
- ・今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。



◆前回評価時との比較

	前回評価時 (平成22年度)	今回評価時 (平成25年度)	備 考 (前回評価時からの変更点)
事業諸元	L=14.8km	L=14.8km	I
計画交通量	7,100台/日 ~57,600台/日	日/导000'09~	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約4,120億円	約4,120億円	
終費用 (C)	5,256億円	5,657億円	・基準年の変更(H22基準からH25基準)
総便益 (B)	4,643億円	6,123億円	・将来交通需要推計の改善について[中間とりまとめ]に示された第二段階の改善を反映・基準年の変更(H22基準からH25基準)
費用対効果 (B/C)	0.9	1.1	・総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道2号広島南道路 〔費用便益比(B/C)算定等資料〕

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

一般国道2号 広島南道路 中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

事業名 事業主体

		李 泰	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事集:費用便益比(B/S)=1、1 (経済的純現在価値(B-C)=467億円、経済的内部収益率(EIRR)=4、3%) 残事業:費用便益比(B/C)=1、7 (経済的純現在価値(B-C)=500億円、経済的内部収益率(EIRR)=7.1%)
●事業の効	り果や必要性を評	●事業の効果や必要性を評価するための指標	
段	政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリ ティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間。(費用便益分析対象区間) について 決務組を指摘では、1910年 2097人・時間/年 法務組を開放して、(第本区間) 一般国道を見びの第一般国道を見びる所道路 区間も (該当区間・近代区間) こついて、(第本区間) 一般国道を見びの解消途 区間も (該当区間等 (該当区間) の決議場を開切 (認定): 約7,887本人・時間/年 並行区間等 (該当区間) の決策場を開切 (認定): 約7,887本人・時間/年 参約6,138千人・時間/年)
		■ 現道等における混雑時旅行速度か20km 小未満である区間の旅行速度の改善が期待される	(国道2号) 対象区間 (南区塔東町) 19 1km/h 改善見込み 対象区間 (中区国泰寺町2丁目) 19 1km/h 改善見込み 対象区間 (中区国泰寺町2丁目) 13 9km/h 改善見込み 対象区間 (中区列表市 18 15 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通連断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が規律される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が堪待できるバス路線が存在する	利便性向上が見込まれる路線 :国証202 ・国証202 ・登開202 ・登開202 ・登覧を線 3路線 [広電バス: 12号線 (戸島/ス: 本品線 (グランドブリンスホテル広島〜洋光台回地) 他1路線]
		口 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		口 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援 援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾:広島港、対象自治体:廿日市市、改善見込み(廿日市10~広島港、37分⇒21分)
		口 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは1SO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		ロ 行域道路整備基本計画に包置りけらめる環状道路を形成する	

紫蓝 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更) 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	格標チェックの根拠
	中心市街地内で行う事業である	当該区間は中心市街地(0.10区間)内の毒業である
	幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	DID内の道路が径長され、都市計画道路網密度が1.86km/km2→1.91km/km2に向上する。
	対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市において[は100戸以上又はBha以上)への連絡道路となる	
■土・地域ネットワークの構築 □ 引	高速自動車国道と並行する自事道 (A)路線) としての位置づけ有り	
#	地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部として位置づけ(平成6年12月指定)
7	当該路線が衝たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
711	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
A	現道等における交通不能区間を解消する	
	現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の 形成 □ 剣	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
#	地点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	ひろしまの「囟の拠点」再生プロジェクト(仮称)、出島地区港湾整備等業、宇品内港地区港湾整備等業の支援
TT .	主要な観光地へのアクセス向上が場待される	世界文化遺產戲島神社を要する観光地宮島神社(225万人/年)、平和記念資料館(126万人/年)
2. 暮らし 歩行者・自転車 のための生活空 □ 信 間の形成	自転車交通最が500台/日以上、自動車交通最が1,000台//20以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が現待できる	
	パリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
無電柱化による 美しい町並みの ロ 対 形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	市街地又は歴史景積地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達 成する	
安全で安心できるくらしの確保 ■ 三	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称:県立広島病院、アクセス向上が見込める自治体:廿日市市 改善見込み:(廿日市市役所~県立広島病院、20分⇒18分)

政	政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
S. 政 会	安全な生活環境 の確保 の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が符する場合において、交通量の減少、步道の設置又は線形不良区間の 「解消等により、当該区間の安全性の向上が携待できる	〈国道2号〉 500億台キロ以上である区間・箇所:西広島BP入口交差点598.8件/億台キロ、広島スタジアム入口交差点712.7件/億台キロ、国泰寺交差点518.6 件/6. 出が可交差点505.2件/億台キロ - 28度午線> 500億台キロ以上の区間:無し
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12/以上、当該区間が適学路である場合は500台/12/以上)かつ歩行者交通量100人/日以上 「当該区間が通常数である場合は学業、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道 が無い又は扱小な区間に多速量が設置される。	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は 地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	広島県緊急輸送道路ネットワーク計画 (125、6月策定) で第 1 次緊急輸送道路に指定(一般国道2号)
		ロ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		ロ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (4)路線としての位置づけがある場合)	
		ロ 現道等の防災点後又は震災点核要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が構消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は各期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の際備により騰減される自動車からの002排出量	GO2排出削減量:約51.7平七/年(整備なし3,824,5千七/年⇒整備あり3,772,8千七/年)
	生活環境の改 善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間:疫苗算定対象范囲 NOX株出野滅糧:約1.94、04.7年(整備なし10,240.0 t /年⇒整備あり10,046.0t/年・・約1.9%製減)
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間:優益算定対象範囲 SPN排出網減量:約10.71/年(整備なし588.5 t /年→整備あり527.81/年・・・約2.0%網減)
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが拼待される区間がある	広島市中区舟入本町(広島市環境局 昼間71-0B)
		ロ その他、環境や景観もの効果が堪待される	
5. その他	他のブでづけとの関係	■ 関連する大規模道路等業と一体的ご整備する必要あり	広島高速道路1号線・2号線と連結し、広島都市圏の都市高速道路網の一部を担う
		■ 他被関との連携プログラムに位置づけられている	「広島県道路整備計画2011」に位置づけあり
	その他	■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	広島臨海地域は、製造業・流通団地企業が多数立地しており、高速道路インターチェンジへのアクセス向上により、地域経済の活性化が期待される

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・そ の他の別
一般国道2号	広島南道路	L=14.8km	地域高規格	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6, 800~60, 000	4	中国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成25年度	
単純合計	3,999億円 603億円		4, 602億円
うち残事業分	858億円	254億円	1, 112億円
基準年における 現在価値(C)	5, 401億円	256億円	5, 657億円
うち残事業分	691億円	77億円	767億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計			
基 準 年	平成25年度						
供用年	平成35年度						
単年便益 (初年便益)	194億円	27億円	12億円	233億円			
基準年における 現在価値(B)	5,091億円	721億円	312億円	6, 123億円			
うち残事業分	1,046億円	155億円	66億円	1, 267億円			

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 1
経済的純現在価値(事業全体)	467億円
経済的内部収益率 (事業全体)	4. 3%
費用便益比(残事業)	1.7
経済的純現在価値 (残事業)	500億円
経済的内部収益率 (残事業)	7. 1%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6, 800~60, 000	±10%	1.0~1.1
事業費	3, 999億円	±10%	1.1~1.1
事業期間	42年	±20%	1.0~1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	交通量 6,800~60,000		1.4~1.9
事業費	858億円	±10%	1.5~1.8
事業期間	9年	±20%	1.5 ~ 1.8

交通状況の変化

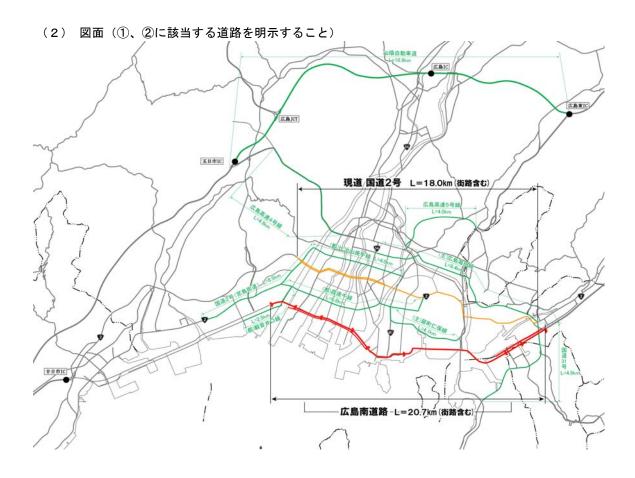
様式-3①

事業名:広島南道路(事業全体)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
1 ±c≡n	改築道路	交通量	[台/日]	9, 900	24, 800
1 利設・	以采担的	走行時間	[分]	1	28
: 20	. 7km	走行時間費用	[億円/年]	2. 00	130. 05
	国道2号	交通量	[台/日]	58, 300	49, 600
	国坦2万	走行時間	[分]	45	43
	: 18.0km	走行時間費用	[億円/年]	487. 68	393. 52
	国道31号, 広島海田 線	交通量	[台/日]	29, 700	22, 900
		走行時間	[分]	39	34
	: 13.3km	走行時間費用	[億円/年]	208. 96	141. 33
	宮島街道, 比治山庚	交通量	[台/日]	26, 400	24, 300
②主な周 辺道路	午線	走行時間	[分]	27	27
	: 10.5km	走行時間費用	[億円/年]	126. 57	113. 60
	翠町仁保	交通量	[台/日]	41, 400	28, 800
	線,霞庚午 線他	走行時間	[分]	31	27
	: 13.4km	走行時間費用	[億円/年]	243. 49	140. 00
	広島高速,	交通量	[台/日]	34, 900	32, 800
	山陽道	走行時間	[分]	20	20
	: 25.8km	走行時間費用	[億円/年]	120. 44	112. 91
	道路合計 7.3km	走行時間費用	[億円/年]	8, 618. 08	8, 504. 03

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:3139.0km	走行時間短縮便益 [億	意円/年]	9, 807. 22	9, 535. 44	271. 79



交通状況の変化

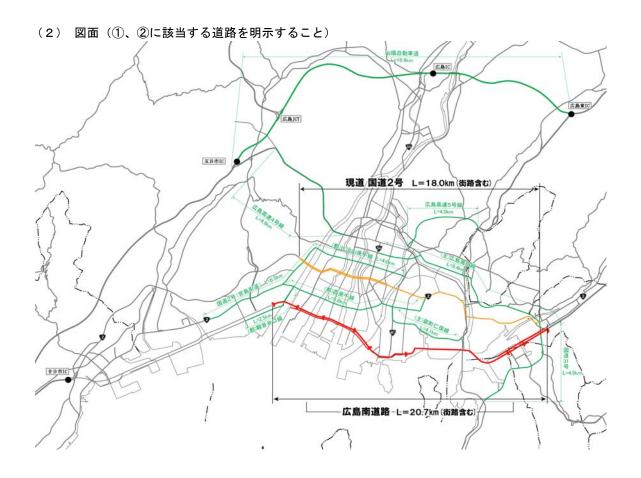
様式-3①

事業名:広島南道路(残事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①±c=ル.	改築道路	交通量	[台/日]	20, 700	24, 800
① 新設・	以架坦始	走行時間	[分]	25	28
: 20	. 7km	走行時間費用	[億円/年]	91. 97	129. 98
	国道2号	交通量	[台/日]	52, 600	49, 600
	国坦2万	走行時間	[分]	44	43
	: 18.0km	走行時間費用	[億円/年]	427. 21	393. 48
	国道31号, 広島海田	交通量	[台/日]	23, 800	22, 900
	仏島海田 線	走行時間	[分]	35	34
	: 13.3km	走行時間費用	[億円/年]	150. 06	141. 31
	宮島街道, 比治山庚	交通量	[台/日]	24, 400	24, 300
②主な周 辺道路	午線	走行時間	[分]	27	27
	: 10.5km	走行時間費用	[億円/年]	114. 09	113. 60
	翠町仁保	交通量	[台/日]	34, 300	28, 800
	線,霞庚午 線他	走行時間	[分]	28	27
	: 13.4km	走行時間費用	[億円/年]	179. 64	139. 97
	広島高速,	交通量	[台/日]	33, 300	32, 800
	山陽道	走行時間	[分]	20	20
	: 25.8km	走行時間費用	[億円/年]	114. 61	112. 91
	道路合計 7.3km	走行時間費用	[億円/年]	8, 517. 15	8, 490. 14

			走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益
			整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)
合計:3139.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9, 594. 73	9, 521. 39	73. 35



費用便益分析の条件

事業名: 広島南道路

(2)

	項目				
		費用便益分析マニュアル			
	算出マニュアル	(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	-		
		その他			
		分析対象期間	50年間		
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%		
		基準年次	平成25年度		
	交通流の	1時点のみ推計	■ (H42年)		
	推計時点	複数時点での推計	Π		
		整備の有無それぞれで交通流を推計			
		整備の有無のいずれかのみ推計			
	推計の状況	いずれかのみいずれかのみの推計とした理由を記載			
		の推計の場合			
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表			
		(三段階推定法)	(H17センサス)		
	推計に用いた	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	_		
	OD表	(四段階推定法)			
		その他(
交		無			
	開発交通量の 考慮	有	-		
通					
流		考慮した開発交通量(トリップ数) 有の場合のみ 考慮した理由を記載	(/ <u> </u>		
推		有の場合のの 行感のた空間を記載			
計					
	配分交通量の 推計手法	QーV式を用いた配分			
		転換率式を用いた配分	+ = =		
		QーV式と転換率式の併用による配分			
		<u> 均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)</u>			
		簡易手法			
		小規模事業である 簡易手法の			
	推削于法	採択理由 山間部海岸部で併行道路が少ない			
		その他()		
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
		その他(
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	+		
		して設定 採用理由を記載			
	速度設定の				
	考え方	 	Т		
		最終配分の速度 採用理由を記載			
		IWUZH C ID#			
		その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)			
		こっぱ 、泉下にカス巡主になる人にの内がかっての企及と以及			

			項目	チェック欄
		考慮しない		
		考慮する		
	仕口去るの		面的に考慮	
	休日交通の 影響	来申する	対象路線のみ考慮	
		考慮する 場合のみ	採用した休日係数	()%
		291 🗖 0707	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え	た方を記載
		考慮しない		
		考慮する		
	災害等による		採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	(0.856) 日
	通行止めの 影響	考慮する	過去10年間の通行止め日数より算出	
	が一百	場合のみ	とり止め交通を考慮する	
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合	合はその考え方を記載
			過去の実績が無いため	_
		考慮しない		
		考慮する		
			採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
	冬期交通の 影響	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数の考え方を記載 	
便				
益			冬期の走行速度と交通容量の関係	
の質			設定の考え方を記載	
算定	+ 'Z '+ 14=1 o	┃ ┃ ┃ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		
	交通流推計の 時点以外の		・単種別定行台キロの伸び率による設定	•
	一 時点以外の 便益の算定	その他)	
	,,,,	プログログログ		
	車種別時間		<u> </u>	
	価値原単位	<u> </u>		
		費用便益分析		
	車種別走行		<u>, </u>	
	経費原単位			
	交通事故減少	中央分離帯の	の有無を考慮	
	便益算定	中央分離帯の	の有無を考慮しない	
	走行時間短縮・走	考慮しない		
	行経費減少・交通	考慮する		
	事故減少以外の便			
	<u>益</u>			
	その他			

_____事業名: 広島南道路 __(_4_)____

		項目	チェック欄
		詳細事業計画による値を採用	
	事業費	標準投資パターンを採用	
費		その他(概略事業計画による値を採用)	
用	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
の	推行 自任貝	実績値に基づき維持管理費を算出	
算	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	
定	その他		
4.	その他		
.			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円) 箇所名:広島南道路(事業全体)

箇所名:広島南道路(事	業全体)				単価(億円) 0.62	延長(km) 20.7	単純価値(億円) 12.85
左加	左曲	割戻率	GDP デフレータ	事業費	(億円)	維持管理	費(億円)
<u>年次</u> -33年目	年度 S 56	3.5081	サフレータ 94.8	単純価値 1.44	現在価値 4.91	単純価値	現在価値
-32年目	S 57	3.3731	95.8	15.26	49.49		
-31年目	S 58	3.2434	96.8	22.63	69.83		
30年目 -29年目	S 59 S 60	3.1187 2.9987	98.7 99.5	32.76 35.27	95.34 97.90		
-28年目	S 61	2.8834	101.2	38.43	100.84		
-27年目	S 62	2.7725	101.0	78.62	198.76		
26年目 -25年目	S 63	2.6658 2.5633	101.5 104.2	100.82 56.95	243.88 129.03		
-24年目	H 2	2.4647	104.2	35.93	76.58		
-23年目	H 3	2.3699	109.1	36.69	73.40		
-22年目	H 4	2.2788	110.6	82.74	157.01		
	H 5	2.1911	110.9 110.8	96.77 83.71	176.09 146.60		
-19年目	H 7	2.0258	109.9	130.92	222.26		
-18年目	H 8	1.9479	109.5	179.35	293.84		
	H 9	1.8730 1.8009	110.4 109.9	220.38 154.87	344.35 233.74		
-15年目	H 11	1.7317	108.4	131.47	193.43		
-14年目	H 12	1.6651	107.2	88.11	126.04		
13年目 -12年目	H 13	1.6010 1.5395	105.7 103.8	59.27 80.15	82.68 109.48		
-11年目	H 15	1.4802	103.8	65.21	86.90		
-10年目	H 16	1.4233	101.0	60.94	79.09		
	H 17	1.3686	99.6 98.7	65.14 127.49	82.44 156.55		
	H 18	1.2653	98.7	110.02	156.55 131.37		
-6年目	H 20	1.2167	96.8	143.17	165.73		
-5年目	H 21	1.1699	95.6	144.14	162.45		
	H 22 H 23	1.1249	93.7 92.1	191.11 173.05	211.30 187.17		
-2年目	H 24	1.0400	92.1	196.92	204.80		
-1年目	H 25	1.0000	92.1	100.79	100.79		10.01
暫定供用年 1年目	H 26	0.9615 0.9246	92.1 92.1	8.02 64.00	7.71 59.17	11.28 11.28	10.84 10.43
2年目	H 28	0.8890	92.1	93.38	83.01	11.28	10.43
3年目	H 29	0.8548	92.1	119.25	101.94	11.28	9.64
4年目 5年目	H 30 H 31	0.8219	92.1 92.1	122.88 126.67	101.00 100.11	11.28 11.28	9.27 8.91
6年目	H 32	0.7599	92.1	131.43	99.88	11.28	8.57
7年目	H 33	0.7307	92.1	100.00	73.07	11.28	8.24
8年目	H 34	0.7026	92.1	92.60	65.06	11.28	7.92
供用開始年次 10年目	H 35	0.6756 0.6496	92.1 92.1			12.24 12.24	8.27 7.95
11年目	H 37	0.6246	92.1			12.24	7.64
12年目	H 38	0.6006	92.1			12.24	7.35
13年目 14年目	H 39	0.5775 0.5553	92.1 92.1			12.24 12.24	7.07 6.80
15年目	H 41	0.5339	92.1			12.24	6.53
16年目	H 42	0.5134	92.1			12.24	6.28
17年目 18年目	H 43	0.4936 0.4746	92.1 92.1			12.24 12.24	6.04 5.81
19年目	H 45	0.4564	92.1			12.24	5.59
20年目	H 46		92.1			12.24	5.37
21年目 22年目	H 47	0.4220 0.4057	92.1 92.1			12.24 12.24	5.16 4.97
23年目	H 49	0.3901	92.1			12.24	4.77
24年目	H 50	0.3751	92.1			12.24	4.59
25年目 26年目	H 51 H 52	0.3607 0.3468	92.1 92.1			12.24 12.24	4.41 4.24
27年目	H 53	0.3335	92.1			12.24	4.08
28年目	H 54	0.3207	92.1			12.24	3.92
29年目 30年目	H 55 H 56	0.3083	92.1 92.1			12.24 12.24	3.77 3.63
31年目	H 57	0.2851	92.1			12.24	3.49
32年目	H 58	0.2741	92.1			12.24	3.35
33年目 34年目	H 59	0.2636 0.2534	92.1 92.1			12.24 12.24	3.23 3.10
35年目	H 61	0.2334	92.1			12.24	2.98
36年目	H 62	0.2343	92.1			12.24	2.87
37年目 38年目	H 63	0.2253 0.2166	92.1 92.1			12.24 12.24	2.76 2.65
39年目	H 65	0.2083	92.1			12.24	2.55
40年目	H 66	0.2003	92.1			12.24	2.45
41年目	H 67		92.1			12.24	2.36
42年目 43年目	H 68	0.1852 0.1780	92.1 92.1			12.24 12.24	2.27 2.18
44年目	H 70	0.1712	92.1			12.24	2.10
45年目	H 71	0.1646	92.1			12.24	2.01
46年目 47年目	H 72 H 73	0.1583 0.1522	92.1 92.1			12.24 12.24	1.94 1.86
48年目	H 74	0.1322	92.1			12.24	1.79
49年目	H 75	0.1407	92.1	-598.75	-84.25	12.24	1.72
合 計				3400.00	5400.77	603.25	255.75
単純事業費計				3998.75		603.25	

単純事業費計 3998.75 603.25

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等

を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控**め**ている。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 延長(km)

6夕. 广自志送败/	(計画業)					純単価の算出(消	
f名:広島南道路(?	戊争 未)				単価(億円) 0.63	延長(km) 8.4	単純価値(億円 5.3
		割戻率	GDP	事業費		維持修繕	
年次	年度	H1//-	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-9年目	H 26	0.9615	92.1	8.02	7.71		
-8年目	H 27	0.9246	92.1	64.00	59.17		
-7年目	H 28	0.8890	92.1	93.38	83.01		
-6年目	H 29	0.8548	92.1	119.25	101.94		
<u>−5年目</u>	H 30	0.8219	92.1	122.88	101.00		
-4年目	H 31	0.7903	92.1	126.67	100.11		
-3年目	H 32	0.7599	92.1	131.43	99.88		
-2年目	H 33	0.7307	92.1	100.00	73.07		
1年目 供用開始年次	H 34	0.7026	92.1 92.1	92.60	65.06	E 00	2.4
	H 35 H 36	0.6756 0.6496	92.1			5.08 5.08	3.4 3.3
<u> 午日</u> 2年目	H 37	0.6246	92.1			5.08	3.1
3年目	H 38	0.6006	92.1			5.08	3.0
3 <u>年日</u> 4年目	H 39	0.5775	92.1			5.08	2.9
5年目	H 40	0.5553	92.1			5.08	2.8
6年目	H 41	0.5339	92.1			5.08	2.7
7年目	H 42	0.5134	92.1			5.08	2.6
8年目	H 43	0.4936	92.1			5.08	2.5
9年目	H 44	0.4746	92.1			5.08	2.4
10年目	H 45	0.4564	92.1			5.08	2.3
11年目	H 46	0.4388	92.1			5.08	2.2
12年目	H 47	0.4220	92.1			5.08	2.1
<u>13年目</u>	H 48	0.4057	92.1			5.08	2.0
14年目	H 49	0.3901	92.1			5.08	1.9
15年目	H 50	0.3751	92.1			5.08	1.9
16年目	H 51	0.3607	92.1			5.08	1.8
17年目	H 52	0.3468	92.1			5.08	1.7
18年目 19年目	H 53	0.3335 0.3207	92.1 92.1			5.08 5.08	1.6 1.6
20年目	H 54 H 55	0.3207	92.1			5.08	1.5
20年日 21年目	H 56	0.3063	92.1			5.08	1.5
22年目	H 57	0.2851	92.1			5.08	1.4
23年目	H 58	0.2741	92.1			5.08	1.3
24年目	H 59	0.2636	92.1			5.08	1.3
25年目	H 60	0.2534	92.1			5.08	1.2
26年目	H 61	0.2437	92.1			5.08	1.2
27年目	H 62	0.2343	92.1			5.08	1.1
28年目	H 63	0.2253	92.1			5.08	1.1
29年目	H 64	0.2166	92.1			5.08	1.1
30年目	H 65	0.2083	92.1			5.08	1.0
31年目	H 66	0.2003	92.1			5.08	1.0
32年目	H 67	0.1926	92.1			5.08	0.9
33年目	H 68	0.1852	92.1			5.08	0.9
34年目	H 69	0.1780	92.1			5.08	0.9
35年目 36年目	H 70	0.1712 0.1646	92.1 92.1			5.08	0.8 0.8
37年目	H 72	0.1583	92.1			5.08 5.08	0.0
38年目	H 73	0.1522	92.1			5.08	0.7
39年目	H 74	0.1463	92.1			5.08	0.7
40年目	H 75	0.1407	92.1			5.08	0.7
41年目	H 76	0.1353	92.1			5.08	0.6
42年目	H 77	0.1301	92.1			5.08	0.6
43年目	H 78	0.1251	92.1			5.08	0.6
44年目	H 79	0.1203	92.1			5.08	0.6
45年目	H 80	0.1157	92.1			5.08	0.5
46年目	H 81	0.1112	92.1			5.08	0.5
47年目	H 82	0.1069	92.1			5.08	0.5
48年目	H 83	0.1028	92.1			5.08	0.5
49年目	H 84	0.0989	92.1	-3.97	-0.39	5.08	0.5
合 計				854.26	690.55	253.81	76.6

単純事業費計 858.23 253.81

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等 を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

様式-5

(億円) 現在価値 割引率4%

291.58 288.49 286.95 285.40 283.86 便益合計 ⅆ 299.3 事故減少便益(億円) 現在価値 ③ ③×(A) 15.90 16.67 20.56 現在価値 26.69 26.69 26.74 26.79 26.84 26.90 27.00 27.10 37.78 37.92 38.07 38.22 38.51 38.51 38.51 38.36 38.21 9.43 9.55 9.55 9.67 9.91 10.03 走行経費減少便益(億円) 16.49 16.52 16.54 16.58 16.81 18.74 18.59 15.5 18.7 18.3 18.0 186.60 179.51 172.68 166.11 159.79 153.71 142.46 137.25 181.24 174.60 168.19 162.03 150.36 144.84 139.53 133.52 111.94 現在価値 122.26 102.48 98.05 62.95 68.80 65.81 52.68 93.8 50. 48 107. 194.07 194.15 194.41 194.41 194.96 195.35 268.28 268.28 269.78 270.29 271.79 271.79 271.79 265.29 263.99 262.69 253.59 252.29 250.99 249.69 248.39 245.79 243.19 241.89 267.89 261.39 260.09 258.79 257.49 256.19 240.59 239.29 51.65 52.32 52.98 53.65 88.44 54.98 78.81 79.98 81.15 82.32 83.49 86.14 86.34 86.44 86.54 88.14 走行時間短縮便益(億円 86.64 88.24 88.34 54.31 箇所名:広島南道路(事業全体) 29.17 29.02 28.87 28.72 28.56 38.24 38.00 37.74 36.69 36.16 37.48 36.42 35.90 35.63 35.37 35.11 34.84 33.00 33.53 32.74 37.21 113.48 113.05 112.62 112.20 148.38 147.95 146.81 145.68 143.40 137.72 136.58 135.45 128.63 127.49 144.54 142.27 139.99 138.86 126.35 125.22 150. 150. 149. 148. 141 GDP ∓*71−4 割戻率 総走行台キロの年次別伸び率 (山陽プロック) 1. 00116 1. 00116 1. 00116 1. 00116 1. 00115 1. 00115 1. 00115 小型貨物 普通貨物 1. 01384 1. 00117 1. 00116 1. 00116 1.0011 0011 90 0.99480 0.99483 0.99477 0.99475 便益の現在価値算定表 0.99708 0. 99124 0. 99116 0. 99108 0. 99100 0.99624 99708 0. 99707 0. 99232 99100 0.99220 9 0.99623 0.99226 99100 100 0.99621 991 991 991 991 991 66 66 年度 ^{基準年)} H25 15年目 16年目 17年目 18年目 19年目 20年目 21年目 22年目 33年目 34年目 35年目 36年目 37年目 5定供用4 24年目 25年目 27年目 27年目 28年目 29年目 30年目 31年目 42年目 43年目 44年目 45年目 46年目 47年目 48年目 48年目 2年目 3年目 4年目 5年目 14年目 23年目 32年目 39年目 40年目 41年目 38年目

35

	Ī	•
	推井	í
ı	_	

様式ーち	計(億円)	現在価値割引率4%		57.04			5 49 11							34 98						7 26.83					21.49		18.81				15.74				12.58			10 53				8.79		7 68		7.01
	¢α	便格合計 (①~③))	87.82		88.14		88.61				87.50		86.22									82.40			81.12		79.85			78.57					76.02		77.18						71 78		
	益(億円)	現在価値 (3) (3)×(A)	3.17	3.04		18.2		2.50				2.10		1.92	1 75	1.68	1.60	1.53			1.34		1.22					0.93					07.0		0.64	0.61		00:0			0.46	0.44		0.40	0.37	
	事故減少便	@	4.69	4.69	4.69	4.09	4.68	4.68	4.68	4.66	4.63	4.60	4.57	4.33	4.02	4.47	4.44	4.41	4.39	4.36	4.33	4.30	4.28	4.25	4.22	4.20	4.14	4.12	4.09	4.06	4.03	0.4	3.95	3.93	3.90	3.87	3.84	3.82	3.76	3.74	3.71	3.68	3.66	3.60	3.57	2000
		現在価値 (A)×②	4	6.80	6.57	0.34	5.12	5.71	5.51	5.28	5.06	4.85	4.64	4.40	4.20	3.91	3.75	3.59	3.44	3.29	3.15	3.02	2.89	2.77	2.66	2.54	2.33	2.23	2.14	2.05	1.96	1.00	1.72	1.65	1.58	1.51	1.45	1.39	1.27	1.22	1.17	1.12	1.07	1.02	0.94	000
		© #		10.47	10.52	10.56	10.61	10.69	10.74	10.70	10.66	10.62	10.58	10.34	10.30	10.43	10.39	10.35	10.31	10.27	10.23	10.19	10.15	10.11	10.07	10.04	96.6	9.92	9.88	9.84	9.80	9.70	9.68	9.64	9.60	9.57	9.53	9.49	9.43	9.37	9.33	9.29	9.25	9.21	9.14	
	か便益(億円)	普通貨物	4.35	4.41	4.48	4.55	4.61	4.74	4.81	4.81	4.82	4.83	4.83	4.04	4.85	4.85	4.86	4.86	4.87	4.88	4.88	4.89	4.89	4.90	4.90	4.91	4.91	4.93	4.93	4.94	4.94	4.93	4.96	4.97	4.97	4.98	4.98	4.99	5.00	5.00	5.01	5.02	5.02	5.03	5.04	
	走行経費減少便益(億円)	小型貨物	1.17	1.17	1.16	CI.I.	1.14	1.13	1.12	1.12	1.11	1.10	1.09	1.09	107	1.06	1.05	1.05	1.04	1.03	1.02	1.01	1.01	1.00	0.99	0.98	0.97	96.0	0.95	0.94	0.94	0.90	0.91	0.91	0.90	0.89	0.88	0.87	0.86	0.85	0.84	0.84	0.83	0.82	0.80	
		乗用車類	4.91	4.89	4.88	4.80	4.85	4.82	4.81	4.77	4.73	4.70	4.66	4.02	4.55	4.51	4.47	4.44	4.40	4.36	4.33	4.29	4.25	4.22	4.18	4.14	4.11	4.03	3.99	3.96	3.92	2 05	3.81	3.77	3.74	3.70	3.66	3.63	3.55	3.51	3.48	3.44	3.40	3.37	3.29	
		現在価値 ①×(A)	49.01	47.20	45.45	43.78	42.15	39.10	37.66	36.03	34.47	32.98	31.56	30.19	20.03	26.44	25.29	24.19	23.14	22.14	21.18	20.26	19.37	18.53	17.72	10.93	15.50	14.83	14.18	13.56	12.97	11 95	11.34	10.84	10.36	9.91	9.47	9.05	8.27	7.91	7.56	7.23	6.91	0.00	6.03	
	益(億円)	## (E)		72.66	72.77	12.89	73.10	73.23	73.35	72.99	72.63	72.27	71.91	71.30	70.84	70.48	70.12	69.76	69.40	69.04	68.69	68.33	67.97	67.61	67.25	00.89	66.17	65.82	65.46	65.10	64.74	04.30	63.66	63.30	62.95	62.29	62.23	61.87	61.15	60.79	60.43	80.08	59.72	29.30	58.64	
₩	6便益(億円)	普通貨物	20.05	20.36	20.66	20.90	21.26	21.87	22.17	22.20	22.22	22.25	22.28	05.27	22.33	22.38	22.41	22.43	22.46	22.48	22.51	22.53	22.56	22.59	22.61	72.04	22.69	22.72	22.74	22.77	22.79	70.27	22.87	22.90	22.92	22.95	22.97	23.00	23.05	23.08	23.10	23.13	23.15	23.18	23.23	
南道路(残事	主行時間短縮	小型貨物	6	11.82	11.75	20.1.08	11.53	11.46	11.39	11.31	11.24	11.16	11.08	1000	10.92	10.76	10.68	10.60	10.53	10.45	10.37	10.29	10.21	10.13	10.05	9.97	9.89	9.74	99.6	9.58	9.50	9.42	9.26	9.18	9.11	9.03	8.95	8.8/	8.71	8.63	8.55	8.47	8.39	0.32	8.16	
箇所名:広島南道路(残事業)	il K		40.60	40.48	40.37	40.25	40.13	39.90	39.78	39.48	39.17	38.87	38.56	37.05	37.64	37.34	37.03	36.73	36.42	36.12	35.81	35.50	35.20	34.89	34.59	34.28	33.67	33.36	33.06	32.75	32.45	3104	31.53	31.22	30.92	30.61	30.31	30.00	29.39	29.08	28.78	28.47	28.17	27.60	27.25	
412	GDP デンルータ					92.1						92.1			92.1	92.1	92.1		92.1	92.1	92.1		92.1			92.1		92.1		92.1		92.1				92.1		92.1			92.1	92.1		92.1		
	割戻率	3	0.6756	_		0.6000	-				0.4746	0.4564		0.4057	0.3901	-				0.3207		4	0.2851	_		-		0.2253	0.2166	0.2083	0.2003	+	+		0.1646	0.1583	0.1522	0.1463	1	-	0.1251	0.1203	0.1157	0.1112	-	1
	び奉	全車	0.99			_	0.99988	0.99988	Т		0.99419			0.99409	_		0 99395			0.99384			_		_	0.99360	0.99356					0.99332			0.99352		_	0.99352	1		0.99352			0.99352		Т
	の年次別伸	易ブロック) 7 普通貨物	1.01532	1.01509	1.01486	1.01465	1.01444	1.01403	1.01384	1.00117	1.00116			1.00.16			1 00115	1.00115		1.00115	1.00115			1.00115	1.00114	1.00114		1.00114		1.00114	1.00114	1.00	1.00114		1.00114			1.00114	1.00114	1.00114	1.00114	1.00114	1.00114	1.00114		Т
א לודו	総走行台キロの年次別伸び率	(小型で) (小型で) (小型で) (小型で) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中) (中		0.99406	0.99402	0.99398	0.99395	0.99387	0		0.99302	0.99298	0.99293		0.99202			0.99261	0.99256	0.99250	_		0.99233		_	0.99215	0.99209		0.99202			0.99202			0.99202		_	0.99202	_		0.99202	0.99202	0.99202	0.99202	Ö	į
便益の現在価値算定表	***	乗用車	2	6 0.99712			90/66/0			3 0.99232	4 0.99226	5 0.99220		0.99207	0 0. 99201 9 0. 99105	0 0 99188	1 0 99181	2 0.99175	3 0.99168	4 0.99161	5 0.99154	6 0.99146		8 0. 99132	9 0. 99124	0 0.99116	0.99108	3 0.99100	4 0.99100	5 0.99100		0.99100		0 0.99100	1 0.99100	2 0.99100	3 0.99100	4 0.99100 5 0.00100		7 0.99100				0.99100		0 0
現在価値	年度	(基準年) H25	I	т		=	H 39	Ξ	Н 42	Ι	H 44	Ι	Ξ:	Γ I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ι	I	I	Ι:	Ξ.		= =	н 62 Н 62	т	Ι	I	H 66	= 1	Ξ	т	I	I	Ξ.	H /4	Ī	Ξ	Ξ	I	Ι:	10 L	Ξ.	1
便益の3		年次	供用開始年次	1年目	2年目	# t	4年日	世	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年日	- 4 - 4 - 1 - 1 - 1	15年日	16年日	17年目	18年目	19年目	20年目	21年目	22年目	23年目	24年目	25年日	26年日	28年目	29年目	30年目	31年目	32年日	34年目	35年目	36年目	37年目	38年目	39年日	40年日	42年目	43年目	44年目	45年目	46年日	48年日	:

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	広島南道路	2~4/44/4	14.8km

■事業費内訳

■事業費□			***	yu =	金額	ш.т.
区分	費目	工種	単位	数量	(百万円)	備考
①工事費	,		式	1	256,866	
	改良費		式	1	34,417	
		土工	m3	290,650	1,491	切土、盛土、捨土
軟弱地盤改良工		m3	1	1,251		
		法面工	m2	755	1	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	21,258	逆T式擁壁、補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁
		函渠工	式	1	4,204	管渠工、函渠工、水路工、等
		中央分離帯工	m	20,700	1,242	
		雑工	式	1	4,970	
	橋梁費		式	1	202,622	
		100m以上	m	20,302	191,367	PC(7橋)、ME橋(49橋)
		100m未満	m	1,799	11,255	ME橋(13橋)、横断歩道橋(1橋)
	トンネル費		式	_	_	
		NATM	m	_	_	
		シールド	m	_	_	
IC·JCT費		式	1	1,720		
		IC	箇所	_	_	
		JCT	箇所	1	1,720	
	舗装費		式	1	3,596	
		車道舗装	m [*]	294,977	3,324	
		步道舗装	m [*]	63,353	272	
	附帯施設	ŧ	式	1	14,511	
		交通管理施設工	式	1	14,511	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	_	_	
②用地及征	び補償費		式	1	98,590	
	用地費		式	1	58,611	
		宅地	m ²	418,022	58,214	
		田畑	m³	_	_	
		山林•原野	m³	30,382	397	
	補償費		式	1	39,979	
③間接経	 費		式	1	56,916	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業	 費				412,372	

(残事業)

-			<u> </u>
路線名	箇所名	車線数	延長
		1 424224	~~
一般国道2号	広島南道路	2~4/44/4	14.8km

■事業費内訳

区分	为訳 費目	工種	単位	数量	金額	備考
	具口	一		双里	(百万円) 70.510	
①工事費	改良費		式	1	78,512	
			式	1	3,828	
	土工		m3	5,300		切土、盛土
	軟弱地盤改良工		m3	1	127	
		法面工	m2	0		切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1		逆T式擁壁、補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁
		函渠工	式	5,980		管渠工、函渠工、水路工、等
		中央分離帯工	m	3,980	239	
		雑工	式	1	2,270	
	橋梁費		式	1	69,630	
		100m以上	m	6,330	69,630	ME橋(6橋)
		100m未満	m	0	0	
	トンネル費		式	_	1	
		NATM	m	_	1	
		シールド	m	_	_	
IC·JCT費		式	_	_		
		IC	箇所	_	_	
		JCT	箇所	_	_	
	舗装費		式	1	940	
		車道舗装	m [*]	90,710	907	
		步道舗装	m [*]	8,225	33	
	附帯施設費	ŧ	式	1	4,114	
		交通管理施設工	式	1	4,114	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	_	_	
②用地及で	 ゾ補償費		式	1	724.00	
	用地費		式	1	397.00	
		宅地	m [*]	_	_	
		田畑	m [*]	_	_	
		山林•原野	m [‡]	30,382	397	
	 補償費	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	式	1	327.00	
			式	1		地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費 90,078						

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	広島南道路	4	20.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	20.7	52,377	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	11,070	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			63,447	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	広島南道路	4	10.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	10.1	17,761	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	4,174	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			21,935	

一般国道2号広島南道路 〔広島県への意見照会と回答〕



国中整企画第50号 国中整港計第26号 平成25年11月8日

広島県知事 殿



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る 対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、 ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通 省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に 基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その 効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委 員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針 (原案)について審議しております。

このたび、平成25年12月5日(木)に委員会を開催すること となりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原 案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼い たします。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備者
一般国道2号広島南道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る 対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成25年11月25日(月)までにお願いします。 ※様式自由

■送付先

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課 課長補佐 加田 教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

土 総 第 1 8 号 平成25年11月25日

中国地方整備局長 様

広島県知事(土木総務課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に 係る意見照会について(回答)

平成25年11月8日付け国中整企画第50号及び国中整港計第26号で依頼のこのことについて,対応方針(原案)案については、異存ありません。

なお、個別の事業についての意見については、別紙のとおりです。

○ 道路事業 一般国道2号 広島南道路

担 当 経営戦略グループ電 話 082-513-3816(担当者 森山)





中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)に対する意見

【道路事業】

事 業 名	一般国道2号 広島南道路
対応方針に対する意見 (対応方針:継続)	妥当である。

(具体的意見)

広島港臨海部における東西の幹線軸となる広島南道路は、広島都市圏の都市機能の向上や、 周辺地域との連携強化を図る上で必要不可欠な社会基盤であり、現在事業中の東広島・安芸バイパスと連携し、広域的なネットワークが形成されることにより、本来期待される機能が十分に発揮されるものと考えます。

今後も引き続きコスト縮減に努めながら、事業化区間の全線供用に向け、計画的に整備を進めるとともに、未事業化区間についても、関係機関と協議調整を行い、広域的なネットワークが早期に形成されるよう努めていただきたい。

一般国道2号広島南道路 〔広島市への意見照会と回答〕



国中整企画第50号 国中整港計第26号 平成25年11月8日

広島市長 殿



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る 対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、 ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通 省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に 基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その 効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委 員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針 (原案)について審議しております。

このたび、平成25年12月5日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号広島南道路	継続	

※貴市の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る 対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成25年11月25日(月)までにお願いします。 ※様式自由

■送付先

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課 課長補佐 加田 教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

中国地方整備局長 栗田 悟 様



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見 照会について(回答)

平成25年11月8日付け国中整企画第50号及び国中整港計第26号で意見照会のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

広島南道路の事業再評価に係る対応方針(原案)については異存ありません。

今年度供用予定区間(吉島地区〜観音地区)の整備効果を十分発揮するため、事業区間のうち未整備となっている区間を着実に整備するとともに、未事業区間(商工センターから廿日市市地御前間)については関係機関と連携しながら整備方針を調整し、広島南道路の早期完成を図られるようお願いします。



